

授業科目 日常生活援助論 I	区分・教育内容		
	専門分野 I 基礎看護学		
授業担当者 齊藤 豊子	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 対象の理解と看護実践の基礎となる技術を習得する。			
授業の目標 1. 日常生活行動の意義を理解し、ボディメカニクスに基づいた移動動作・体位変換の技術を習得する。 2. 休息と睡眠及び安楽を確保するための援助方法を習得する。 3. 創傷処置及び褥瘡予防のための援助方法を習得する。			
授業概要 人間は本来、自分の意思どおりに行きたいところに行き、目的に応じて適切に身体を動かし、必要であれば適度な休息や睡眠をとる能力をもっている。日常生活における活動と休息・睡眠の意義・身体の仕組みを理解したうえで、活動を制限されることによる身体的・精神的・社会的影響を学習し、活動制限のある患者に対する安楽な体位の調整方法を学ぶ。また休息と睡眠を促すための援助方法の実際を学ぶ。			
授業計画(進め方) 1 回目 活動・運動を支援する技術 基本的活動の基礎知識 2 回目 活動・運動を支援する技術 3 回目 安楽な体位とボディメカニクス 4 回目 体位変換・移動・移送 5・6 回目 体位変換の実際 ・水平移動・側臥位・体位保持 【演習】 7 回目 活動・運動を支援する援助の実際 ・杖歩行介助・歩行器 自動・他動運動【演習】 8・9 回目 移乗・移動の実際 ・車椅子での移送 ・ストレッチャーへの移乗・移送 【演習】 10 回目 休息と睡眠・安楽を促すための援助 11・12 回目 安楽の促進・苦痛緩和のためのケアの実際（足浴） 【演習】 創傷の管理（包帯法） 13 回目 包帯法の実際 【演習】 14・15 回目 褥瘡予防ケア・創傷処置の実際 【演習】 安楽な体位の調節 【演習】			
テキスト ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 メディカ出版 竹尾恵子監修 看護技術プラクティス 第4版 学研			
参考書・指定図書 看護がみえる vol. 1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験・レポート・演習での取り組み状況から総合的に評価する。			